

第 364 回研究報告会（2024 年 1 月 31 日）

「バークリ哲学における神の存在に関する諸論証」

山川 仁（国際学部非常勤講師）

本報告は、古典的イギリス経験論の代表的哲学者でありイギリス国教会の主教でもあったジョージ・バークリ（George Berkeley, 1685～1753）の哲学の概要および彼が提示した神の存在に関する諸論証を紹介するものである。報告者は、バークリの生涯に関する導入を行ったのちに、彼独自の哲学体系である非物質論（immaterialism）の基本的枠組みについて解説し、続いて、彼特有の言語論および彼による神の存在に関する諸論証の紹介を行った。

バークリの言語論は、言葉には（「観念」を介さずに）人の感情や行動に直接作用する機能があることを早い段階で指摘したものとして、現代においても評価されている。バークリは、彼の非物質論に伴う問題点との兼ね合いで、神の存在に関する複数の論証（とされるもの）を提示している。第一に、「受動性論証」と呼ばれるものがあり、これは身の回りの諸物の実在性を保証する存在としての神を導く論証である。第二に、「継続性論証」と呼ばれるものがあり、これは身の回りの諸物がわれわれの知覚とは独立に継続して存在するという常識的信念を擁護する目的で持ち出されるとされる（ただし、それをそのような目的を持つ「論証」とみなすと難点が見出される）ものである。加えて、彼は、より積極的に神の存在を肯定するための論証も提示している。それは、言語使用によって他の理性的な心の存在が認められることを前提として、神も同様の言語を使用していることを証明し、神の存在を導くという独特なものである。

報告後の質疑応答において、バークリが言及する神の特徴について、また、非物質論の基本的枠組みに関する不明点等について多くの質問を頂いたが、いずれも報告者の今後の検討課題と関わるものであり、有益な報告機会となった。

第 365 回研究報告会（2024 年 2 月 26 日）

「歴史的建造物の保存と活用、価値付けと活かす、伝える、育む」

田中 梨絵（人文学部講師）

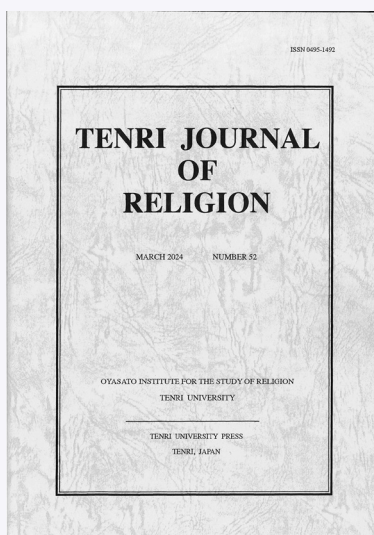
本発表では、歴史的建造物の保存と活用を取り巻く社会状況や文化財保護制度を踏まえ、歴史的建造物の保存にとって重要となる「価値付け」について取り上げた。社会的需要に対応して保護対象を拡大してきた文化財保護法は、建造物においても、社寺、城郭、民家、伝統的建造物群、洋風建築、近代化遺産、鉄筋コンクリート造の現代建築、土木遺産などと、時代とともに対象が拡大し、価値も変化している。文化財建造物を含む歴史的建造物の保存では個別の価値をさまざまな視点から見出すことが重要となる。

発表者は、修士論文で取り組んだ京都旧番組小学校校舎の保存プロセスの調査から、建造物の歴史性、芸術性、学術性といった価値以外にその建造物と関わりの深いコミュニティの思い入れに着目している。発表では、歴史的建造物やその建造物が所在する地域を大切に思う人の「思い」を伝え、同じように大切に思う人を育むことを目的に、学生と一緒に奈良町で取り組んだ実践活動も報告した。質疑では、同席した生涯教育専攻の学生が活動への思いを発言する時間もいただき、学生が地域で活動する意義についても確認する機会となった。

新 刊 紹 介

おやさと研究所では、『Tenri Journal of Religion』No.52、『「碍」の字表記問題再考』（グローバル新書 18）を発行しました。内容の詳細に関しては研究所のホームページ（<https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>）をご覧ください。

グローバル新書は、道友社販売所で購入いただけます。『Tenri Journal of Religion』（Web 版のみ）は、研究所ホームページよりご覧いただけます。



『Tenri Journal of Religion』No.52
(Web 版のみ)



八木三郎著 『「碍」の字表記問題再考』

グローバル天理
第 25 巻 第 6 号（通巻 294 号）

2024 年（令和 6 年）6 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 井上昭洋
編集発行 天理大学 おやさと研究所

〒632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050

TEL 0743-63-9080

FAX 0743-63-7255

URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>

E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

印刷 天理時報社

Printed in Japan